



久保

貴洋 議員
(大樹会)

命と健康を守る暑さ対策について

Q クーリングシエルターについて、今後の民間施設指定の考え方を伺いたい。

A 市長

民間施設の指定については、本市の熱中症対策にとって大きな効果が期待できるものと考えています。

気候変動適応法が改正され、民間施設においても協定を締結することで、クーリングシエルターとしての指定が可能となったことから、本市でも猛暑日や真夏日が増加する時期に備えて開設拡大を図るため、令和6年5月より、公共施設と一緒に熱中症対策に取り組んでいただく民間事業者の公募を開始し、今までに5者12施設で開設につながっており、民間で455人、公共施設で210人、合計665人の受入れが可能となっています。

今後も民間施設をクーリングシエルターとして継続して受入れ態勢の拡大を図り、さらなる熱中症対策の強化に結びつけていきたいと考えています。

その他の質問

☆耕作放棄地について
☆あそ野学園義務教育学校について



▲クーリングシエルターマーク



高橋

功 議員
(大樹会)

市有施設の耐震診断と結果について

Q 常盤地区公民館の耐震診断の結果では、耐震性が非常に低く、補強を要するとの結果であるが、今後施設の改修や機能の移転を検討しているのか。

A 教育部長

現在の建物の改修費は、耐震補強に係る部分のみの設計費及び工事費で5,000万円を超える費用が概算で見込まれ、また、建て替えに要する費用は、設計費及び工事費で3億円を超える費用が見込まれていることから、近隣の市有施設に移転を検討しています。そこで、常盤地区の小さな拠点づくりのワークシヨップにおける旧常盤中学校の跡地利用の方針をまとめていくという動きも踏まえ、旧常盤中学校を移転先の第1候補として、今後できるだけ早い段階で

その他の質問

☆森林環境譲与税と制度の活用について
☆葛生義務教育学校開校により閉校した各小学校の活用方針について

市の方針等を決定し、地域の皆様にご説明させていただきたいと考えています。

神宮次 秀樹 議員
(政友みらい)

林道作原沢入線の維持管理及び展望台の設置について

Q この展望台の計画については、令和7年度に設置工事を行うとの内容が報告されているが、この展望台付近は、県内で一、二を争う天の川がきれいに見える場所ということで、5月20日頃、下野新聞やネット上で大きく取り上げられている。計画の中に作原自然環境保全地域としての配慮がされているのか、伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

5月21日の下野新聞1面で「天の川見える夜空維持」と大きく報道され、林道作原沢入線から撮影された写真が掲載されました。記事の中には、「豊かな自然を持っている、地域の宝」との記載もありました。

本市としても、すばらしい自然環境の保全を念頭に置き、最大限の配慮を行いながら事業に取り組みたいと考えています。

その他の質問

☆クーリングシエルターについて
☆側溝等に堆積している土砂の除去について

